科目基礎情報 科目番号 2023-487 料目区分 一般 / 必修 授業形態 授業 単位の種別と単位数 履修単位: 2 開設学科 制御情報工学科 対象学年 2 開設期 通年 週時間数 2 教科書/教材 『文学国語』『論理国語』(ともに筑摩書房)『新国語便覧』(大修館書店) 担当教員 小林 美恵子 到達目標 1. 旅選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる に変けいきる ことができる	:伸ばす								
科目番号 2023-487 科目区分 一般 / 必修 授業形態 授業 単位の種別と単位数 履修単位: 2 開設	:伸ばす								
開設学科 制御情報工学科 対象学年 2 週時間数 2 教科書/教材 『文学国語』『論理国語』(ともに筑摩書房)『新国語便覧』(大修館書店) 担当教員 小林 美恵子 到達目標 1. 厳選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる。 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる。 評価項目1 に適切に表現することができる。 まオカや想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる。 評価項目2 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる。 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる。 コープリック に要することができる。 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる。 思考力や想像力、認識力をできない まオートを関係していてきない は、感性や情緒を育むことができる。 とができる。 ことができない は、感性や情緒を育むことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができない 自分の考えを論理的に整理 し、伝えることができる。 自分の考えを論理的に整理することができる。 自分の考えを論理的に整理することができる。 自分の考えを論理的に整理することができる。 ことができる。 ことができない 自分の考えを論理的に整理することができない 音ができない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできる。 ことができない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできないできる。 ことができない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできないできる。 ことができない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないますないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできない まずないできないできる。 まずないできない まずない まずないできない まずない まずない まずない まずない まずない まずない まずない まず	:伸ばす								
開設期 通年 週時間数 2 教科書/教材 『文学国語』『論理国語』(ともに筑摩書房)『新国語便覧』(大修館書店) 担当教員 小林 美恵子 到達目標 1. 厳選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 解することができる。 評価項目1 思考力や想像力、認識力を伸ばす、感性や情緒を育むことができる 思考力や想像力、認識力をできる。 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる。 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる。 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等	:伸ばす								
教科書/教材	:伸ばす								
担当教員 小林 美恵子 到達目標 1. 厳選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 評価項目1 記考力や想像力、認識力を伸ばし、思考力や想像力、認識力を伸ばす。ことができる。 記考力や想像力、認識力を伸ばし、必然性や情緒を育むことができる。 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる。 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる。 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等	:伸ばす								
到達目標 1. 厳選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 無理度の・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 評価項目1 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる 評価項目2 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等	:伸ばす								
1. 厳選された論理的・文学的文章から、現代社会の様々な側面を理解し、自分で考える力を養う。 2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 評価項目1 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる 記考力や想像力、認識力を伸ばすることができる 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等	:伸ばす								
2. 文章の論理を正確に把握し、情報を取り込んだ上で構築した自身の考えを表現し、伝えることができる 3. それぞれの文章の魅力や美しさを理解し、豊かに鑑賞できる力を身につける ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 評価項目1 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 記考力や想像力、認識力を伸ばすっとができる 評価項目3 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等	:伸ばす								
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる 論理的・文学的な文章を的確に理解することができる 記考力や想像力、認識力を伸ばす 思考力や想像力、認識力を伸ばす ことができる 思考力や想像力、認識力を伸ばす ことができる ことができる ことができる ことができない おかり 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる 自分の考えを論理的に整理することができる とができる とができない 自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる とができる とができる とができない 自分の考えを論理的に整理することができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理をあることができない 自分の考えを論理的に整理をあることができない 自分の考えを論理的に整理とができない とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理とができない 自分の考えを論理的に整理を表する とができない 自分の考えを論理を表する とができない 自分の考えを論理を表する とができない 自分の考えを論理を表する とができない 自分の表する とができない 自分の考えを論理を表する とができる に対し、 自分の考えを論理を表する とができる に対し、 自分の考えを論理を表する とができる に対してきない 自分の考えを論理を表する とができる に対してきない 自分の考えを論理を表する とができる に対してきない 自分の考えを論理を表する とができる に対してきない に対している に対している に対してきない に対している に対し に対し に対している に対し に対している に対し に対している に対しない に対し	:伸ばす								
評価項目1 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができ紹介できる。 論理的・文学的な文章を的確に理解し、適切に表現することができる。 記考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育むことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができない。 ことができる。 こと	:伸ばす								
評価項目1 解し、適切に表現することができ 解することができる 解することができない 解することができない 解することができない 思考力や想像力、認識力を伸ばし 思考力や想像力、認識力を伸ばす ことができる ことができる ことができない 自分の考えを論理的に整理し、伝 自分の考えを論理的に整理するこ 自分の考えを論理的に整理するこ とができない 学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4	:伸ばす								
評価項目2、感性や情緒を育むことができることができることができない評価項目3自分の考えを論理的に整理し、伝えることができる自分の考えを論理的に整理しるとができる自分の考えを論理的に整理とができない学科の到達目標項目との関係【本校学習・教育目標(本科のみ)】4教育方法等									
評価項目3 えることができる とができる とができない とができる とができない とができない とができない とができない とができない とができる とができる とができない とができる とができない とができない とができない とができる とができない とができる とができる とができない とができる とができる とができる とができる とができる とができない とができない とができない とができない とができない とができる とができる とができない とができない とができる とができない とができない とができる とができる とができない とができる とができる とができない とができない とができない とができない とができる とができる とができない 	!するこ 								
【本校学習・教育目標(本科のみ)】 4 教育方法等									
教育方法等									
今年度から、教科書が「論理国語」と「文学国語」の2冊となり、従来のような近現代の文学作品を中心に鑑賞しような展開とは異なる進め方となる。気鋭の執筆陣が多方面から分析した現代社会の側面を理解し、思考し、表るようになることを目指す。将来、社会のいずれの場においても必要になる情報理解の力・他者理解の力・自己力・対話の力を身に着けることを目標とする。	現でき								
「論理国語」と「文学国語」の使用割合はおおむね3:1程度を目安としている。作品の読解を基礎とし、現代社会への 授業の進め方・方法 関心を引き出し、諸問題が自己にどう反映していくかを考えさせるために、必要に応じてブリント教材を使用するなど しながら、個人・グループでの調査・討議、作成した資料をもとにした発表・批評など多岐にわたる活動を行う。									
1.評価については、評価割合に従って行います. 2.取り上げる作品やその順番については変更する場合があります。 注意点									
授業の属性・履修上の区分									
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員に	よる技業								
也 然 計學									
授業計画 週 授業内容 週ごとの到達目標									
週 授業内容 週ごとの到達目標 ガイダンス 授業の全体像を理解することができる									
1週 教育目標・授業概要・評価方法の説明 随想を読み、体験の正確な把握と導き出された 文学国語:梨木香歩「プラスチック膜を破って」 の理解を深める									
2週 梨木香歩「プラスチック膜を破って」 随想を読み、体験の正確な把握と導き出されたの理解を深める									
3週 論理国語:内田樹「物語るという欲望」 物語の「解釈」行為とは何かを理解し、読むと 為について考える。									
1stQ									
5週 論理国語:川添愛「本当は怖い「前提」の話」 「前提」という概念を理解し、情報と情報の関解する力を持つ	係を理								
6週 川添愛「本当は怖い「前提」の話」 「前提」という概念を理解し、情報と情報の関解する力を持つ									
- - - - - - - - - -	「前提」という概念を理解し、情報と情報の関係を理 解する力を持つ								
	41/47位								
/週 川添変「本当は市い「削掟」の話」 解する力を持つ 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環									
前期 7년 川添変 「本当は怖い「前徒」の話」 解する力を持つ 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 9週 藤原辰死「金繕いの景色」 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 10週 藤原辰死「金繕いの景色」 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する	製的な時間のない								
10個 所添変 本当は怖い 刊前提 の話	製的な時間のない								
前期 7년 川添変 「本当は怖い「前徒」の話」 解する力を持つ 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 9週 藤原辰死「金繕いの景色」 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 10週 藤原辰死「金繕いの景色」 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する 破壊と再生という物事のとらえ方に触れ、円環間認識の豊かさを理解する	間的な時間的な時間のない。 関連を関連を								
前期	震的な時 震的な時)関連を)関連を								
13個 川島慶子「変貌する聖女」 「伝記の書き換え」と「変容する女性観」とのます。 「伝記の書き換え」とのます。 「伝記の書き換え」とのます。 「伝記の書き換え」とのます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「伝記の書き換え」といるます。 「本述の書き換え」といるます。 「本述の書き換え」といるます。 「本述の書きぬえ」 「本述の書きぬるる」 「本述の書きぬるるる。 「本述の書きぬるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる	震的な時で対象のは できません ひまい はいい はい は								
前期	震的な時 震的な時 D関連を D関連を D関連を 対争と平								

後期	3rdQ	1週	論理[国語:湯浅誠	えを深め、社	会の現状を					
		2週	湯浅詞	滅「貧困は自己	己責任なのか」	「貧困」とは何かについて考 分析する力を身に着ける	えを深め、社	会の現状を			
		3週	湯浅詞	滅「貧困は自己	己責任なのか」	「貧困」とは何かについて考 分析する力を身に着ける	えを深め、社	会の現状を			
		4週	論理	国語:尼ケ崎村	杉「模倣と「なぞり」」		「芸」の継承とはいかなるも 伝統的な芸術について理解を		に把握し、		
		5週	尼ケ	崎彬「模倣と	「なぞり」」		「芸」の継承とはいかなるも 伝統的な芸術について理解を		に把握し、		
		6週	尼ケ	崎彬「模倣と	「なぞり」」		「芸」の継承とはいかなるも 伝統的な芸術について理解を		に把握し、		
		7週	文学	国語:茨木のり	O子「空と風と星と詩」		韓国詩人への敬愛の情を表した文章から、隣国文化への理解を深める				
		8週	茨木の	のり子「空と原	た文章から、	隣国文化へ					
	4thQ	9週	茨木の	のり子「空と原	虱と星と詩」		韓国詩人への敬愛の情を表し の理解を深める	た文章から、	隣国文化へ		
		10週	論理	国語:尹雄大	「男の絆、女たちの沈黙」		固定的なものの見方が固定的 に耳を傾け、真のコミュニケ る				
		11週	尹雄之	大「男の絆、タ	女たちの沈黙」		固定的なものの見方が固定的 に耳を傾け、真のコミュニケ る				
		12週	尹雄之	大「男の絆、タ	女たちの沈黙」	固定的なものの見方が固定的 に耳を傾け、真のコミュニケ る					
		13週	文学	国語:多和田朝	葉子「捨てない女」	ゴミにまつわる日常的な生活 に飛躍させられる創造力の広					
		14週				ゴミにまつわる日常的な生活 に飛躍させられる創造力の広					
		15週				ゴミにまつわる日常的な生活 に飛躍させられる創造力の広					
		16週									
モデルニ	レコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週		

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		授業週
			国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	到達レベル 2	前9,前 11,後8,後 10,後13,後 14
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の 妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	前4,前 10,前12,後 9,後11
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	前2,前3,前 5,前6,前 7,前8,前 14,前15,後 1,後4,後 5,後6,後7
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	後1,後12
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	後12
基礎的能力	人文・社会 科学			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	後12
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	後15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な 情報を収集できる。	2	後15
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	後15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わる ように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	後15
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	前1,後15
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	後3
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理 するための手法を実践できる。	2	後3
	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	前14
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	後3
分野横断的				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	後3
能力				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	後3
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	後3

			1	他者の意見を聞きる	合意形成することが	べ できる。		2	前13,前 14,前15,後 3
				合意形成のために会	会話を成立させるこ	ことができる。		2	後3
				グループワーク、ワ 践できる。	フークショップ等の	特定の合意形成の	方法を実	2	後3
				書籍、インターネッ 収集することができ		により必要な情報	を適切に	2	後2,後10
				収集した情報の取捨 報を選択できる。	含選択・整理・分類 かんかん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	などにより、活用	すべき情	2	後2,後10
				目的や対象者に応じ 信(プレゼンテーシ		手法を用いて正し	く情報発	2	後2,後11
			1	事実をもとに論理や	p考察を展開できる) o		2	前10
				結論への過程の論理 る。	理性を言葉、文章、	図表などを用いて	表現でき	2	後11
評価割合									
	試験	Ş	 発表	相互評価	課題	ポートフォリオ	その他	4	計
総合評価割合	調合 80		10	0 10 0		1	00		
基礎的能力	80 0)	0	0	0	0	8	0
分野横断的能力 0 10		10	0	10	0	0	2	0	